



地域

震災前の大川小も伝えたい 卒業生も参加 大川 伝承の会語り部ガイド<宮城・石巻市>

仙台放送

2020年1月27日 月曜 午後5:23



東日本大震災で児童・教職員合わせて84人が犠牲となった石巻市の大川小学校で、1月26日、今年最初の「語り部ガイド」が行われました。

大川小の遺族や地域住民が参加する「大川伝承の会」では、2016年から定期的に「語り部ガイド」を行っています。26日は、県内外から約200人が訪れ、語り部の話に耳を傾けていました。

大川伝承の会 鈴木典行 共同代表

「（南海トラフ地震で）26万人が津波で亡くなると内閣府でいわれているんですよね。逃げることによって（犠牲者が）減るといわれています。そういったことを忘れないでほしい。簡単な言葉です。忘れないでほしい。」

26日は自身も大川小の卒業生で、震災で妹を亡くした佐藤そのみさんも参加し、小学校の思い出を話しました。

佐藤そのみさん

「この壁の向こうは広いステージになっているんですけど、こんなに立派なステージがあるのに児童たちは先生たちに休み時間は遊びに行っちゃダメだよって言われていて。私たちはどうにか先生にばれないように忍び込むかという遊びをしていた思い出があります」

佐藤そのみさん

「あの日のことを伝えるのも必要だけど、それ以前にここがどういう場所だったかというのは私たちだからこそ話せると思うので、より子供たち・先生たちを身近に感じてもらうために、そういう話はしていきたい」

次回の語り部ガイドは、3月15日に行われる予定です。